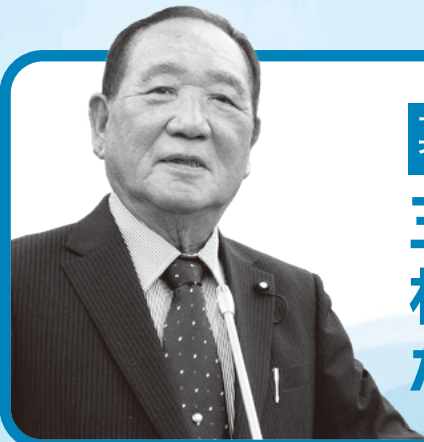




暮らし

玉村町は他市町村と比べてどんな点が良いのか

「私の視点」

「暮らすなら、ここがいい。」という割には流出者が多いように思う。働きやすく、暮らしやすい。そして、災害にも強いまちづくりを行うべきだ。

答弁（町長） 交通便、自然環境、文化的資源など様々ある

問 町長は、第6次総合計画で目指すべき将来像を「暮らすなら、ここがいい。」と定め、議会等では言っているが、他市町村と比べてどんな点が良いのか。

答（町長） 他市町村と比較した本町の良さは様々ある。本町は、前橋、高崎、伊勢崎、藤岡市の県内主要4都市に囲まれ、近年は高崎玉村スマートICや東毛広域幹線道路の開通など、広域的な交通利便性も向上している。

また、町内には豊かな自然環境とともに、日光例幣使道の宿場町として発展した本町の歴史をしのばせる文化的資源も残されている。町の玄関口となった道の駅玉村宿をはじめ、群馬県食肉卸売市場、全国食肉学校、フェリーチェ玉村国際小学校など、全国的にも個性が光る民間事業者も立地している。

このような立地環境の良さを生かしながら、



進出企業の公表が待たれる高崎玉村スマートIC北地区工業団地

第6次総合計画に掲げた6つの重点目標、「わざわいから生命と財産をまもる」、「子どもを育て未来をつくる」、「元気に年を重ねられる町をつくる」、「生活しやすい環境をつくる」、「たまむらの良さを次世代につなぐ」、「笑顔と活気ある地域をつくり、つなげる」に向かって、各種事業を進め、町の目指す将来像である「暮らすなら、ここがいい。」の実現に向け鋭意に取り組んでいるところである。

両水跡地の今後

問 両水跡地は、何年も前からそのままになっていたが、最近、解体作業に入っている。今後、どのような工程で進んでいくのか。

答（町長） 現在、進出を希望する企業と協力しながら各種手続きを進めている。

市街化区域への編入後、造成や建設などの工事を経て、令和9年度頃の開業を予定している。

進出企業の公表を

問 高崎玉村スマートIC北地区工業団地に進出する企業を、もっと早く公表できないか。

答（町長） 県企業局に聞いたところ、6月中には公表できるのではないかとのことである。

こんな質問もしています

・道の駅「玉村宿」の経営について

令和6年6月定例会

町の課題や今後について、議員が提案も含めて町に考えを聞く「一般質問」。本会議において、白熱した論戦が繰り広げられます。6月定例会で登壇した8人の議員はどんな視点で質問し、そして町はどう答えたのか。町の「今とこれから」が見えてきます。

8人の 論戦

鋭く迫る！ 一般質問



皆さんは、どのキーワードに関心がありますか？

まちづくり

両水跡地の今後 (笠原 P.5)
進出企業の公表を (笠原 P.5)
旧両水跡地の進捗状況は (浅見 P.6)
都市計画の見直しは (松本 P.9)
社会資本整備予算の充実強化を (羽鳥 P.10)

交通・道路

乗合タクシー（たまりん）事業の総括を！！ (月田 P.7)
どうする、舗装道路のデコボコ補修 (新井 P.8)
道路の整備状況について問う (松本 P.9)
高崎高等特別支援学校への通学の足は (小林 P.12)

福祉・防災

「個別避難計画作成」の見通しはどうか (羽鳥 P.10)
災害時、町民の命を守る取組の強化を (堀越 P.11)
報酬改定に伴う事業所支援体制整備を (小林 P.12)

くらし

玉村町は他市町村と比べてどんな点が良いのか (笠原 P.5)
水道料金等の改定 (羽鳥 P.10)

その他

玉村産ブランド麦焼酎の生産・販売 (浅見 P.6)
企業版ふるさと納税の取組強化を (新井 P.8)
農業系の企業誘致を (松本 P.9)
丈夫で安価な制服を併用できないか (堀越 P.11)

※（ ）内は質問者と掲載ページ

議会ホームページで平成21年以降の全文記録（会議録）を公開しています



玉村町議会会議録

